

東北医科薬科大学 若林病院 連携だより



東北医科薬科大学若林病院になりました ～変わったもの・変わらないもの・変わっていくもの～

東北医科薬科大学 若林病院 院長 佐藤 譲



当院（旧 NTT 東日本東北病院）は、NTT 東日本株式会社から学校法人東北医科薬科大学に事業譲渡され、本年4月から東北医科薬科大学若林病院として再出発しました。36年間にわたってNTT病院として地域住民から慕われ、地域医療に貢献してまいりましたが、東北医科薬科大学の一員となった若林病院はこれからどのように変わっていくのでしょうか。

<変わったもの>

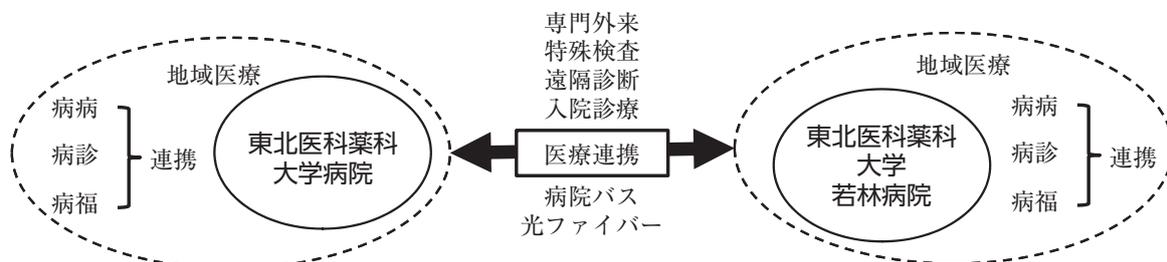
完全に変わったのは病院名です。若干の職員の異動もありました。NTT 東日本株式会社所属の十余名の事務職員は会社に戻られ、数名の看護師や医療事務補助員はNTT 東日本関東病院や札幌病院を希望され異動されました。代わりに病院の経営や事務に精通した事務方や看護職の方々が入職されました。新病院発展のために一緒に頑張っております。

<変わらないもの>

ほとんどの医師やコメディカルの職員はそのまま若林病院に移行しました。以前と同じメンバーで、以前の診療体制と診療内容を継続しています。患者さんの診療記録もそのままです。もちろん、病院の理念である「人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かく良質な医療の提供に努めます」もそのままです。若林区を中心とした医療連携、総合病院としての地域医療における役割も変わりありません。

<変わっていくもの>

大学の役割は診療、教育、研究ですが、診療面については東北医科薬科大学病院（宮城野区）との医療連携を強めていきます。大学病院では平成31年4月に新病棟がオープンします。それに合わせて両病院の得意分野をさらに強化する形で設備が整備され、附属病院全体の臨床力がアップされます。現在、両院で連携強化の具体的な内容を検討中であり、充実した医療連携体制ができるものと期待されます（図）。大学には本年度から医学部第一期生が入学しましたが、教育や研究についても徐々に発展していくものと思います。



(図) 東北医科薬科大学病院と若林病院の医療連携のイメージ

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった
温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 東北医科薬科大学若林病院になりました……P.1
- 新任医師紹介、こんにちは!! 私たち若林病院の NEW FACE です!! …P.2
- 認定看護師紹介、市民公開講座、地域医療連携室からのお知らせ …P.3
- 楽楽(らくらく)ウォーキング!!、TOPICS ……P.4

新任医師紹介

よろしくお願いたします!!



外科
マツ オ チカシ
松尾 幾 医師

当院が新病院へ移行した4月1日付で外科医師として着任いたしました。前勤務先が中小規模であったこともあり、患者様との距離が近い診療に馴染んで参りました。それを活かしつつ、心機一転頑張っていくつもりです。何卒宜しくお願い申し上げます。



内科（後期研修医）
ナガ イ リョウ
永井 良 医師

4月1日より、3年目の後期研修医として、腎臓内科で働かせていただいております。腎臓内科どころか、内科全領域で勉強しなければならないことばかりです。少しでも、地域の皆様の健康づくりのお役に立てるよう、頑張っていくたいです。



内科（初期研修医）
クマガイ ヒカル
熊谷 輝 医師

4月から初期研修医として内科に所属させていただいております。日々学ぶことが多いですが、早く慣れるよう努力して参ります。どうぞ宜しくお願いします。

お世話になりました

外科 安田 幸治 医師
研修医 無量井 章 医師 以上2名、平成28年3月末でご退職

こんにちは!! 私たち若林病院の NEW FACE です!!



看護師 藤沢 爽風

社会人となり、早くも3ヶ月が過ぎました。少しずつですが、一人のできるケアや処置など増えてきてうれしさを感じる反面、責任感と緊張感をもちながら仕事に励んでいます。患者様からも廊下で声を掛けていただいたり、少しずつではありますが仕事のやりがいを感じる余裕ももてるようになってきました。まだまだ未熟者ですが、先輩方に指導していただき仕事に取り組んでいます。疑問に感じたことは、その日のうちに解決し新しいことを吸収して、諸先輩方のような一人前の看護師に早く近づけるよう日々努力していきたいと思ひます。

理学療法士 小野 央人

こんにちは。私たちは今年度から東北医科薬科大学若林病院に入職した理学療法士、作業療法士です。まだまだ入職したばかりでわからないことが多いですが、リハビリテーションを担う職種としてとにかく全員一生懸命、患者様のために日々リハビリ業務を行っています。これから地域の皆様にも私たちの顔と名前をしっかりと認識して頂き、病院と地域の連携をより一層深められるよう努力していきたいと思ひます。また、私たちは全員東北地方出身で、各地方の観光や方言など共感できる部分が多いと思ひます。もし、病院以外の場所でも見かけたり、すれ違ったりしましたらお気軽にお声掛けください。



認定看護師紹介



慢性呼吸器疾患看護認定看護師 北山 綾子

私は 2013 年に慢性呼吸器疾患認定看護師の資格を取得し他県の病院に勤務していましたが、昨年 9 月に当院に就職し、現在は呼吸器循環器病棟に勤務しながら日々呼吸器疾患患者さんのケアに携わっています。

慢性呼吸器疾患は、風邪を引くなどのちょっとしたことが契機となり生命を脅かすほどの危険につながる場合があります。そのため体調を整えながら安定した生活を送ってもらうことがとても重要になります。患者さん自身でご自分の病気を上手にコントロールしながら生活していくために医師やリハビリスタッフ、栄養士、薬剤師、臨床工学士、ソーシャルワーカーなど他職種で構成される呼吸サポートチーム (RST) の一員としてお手伝いできることをとても嬉しく思っています。

1 人でも多くの方のお役に立てるようこれからも頑張っていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。

市民公開講座

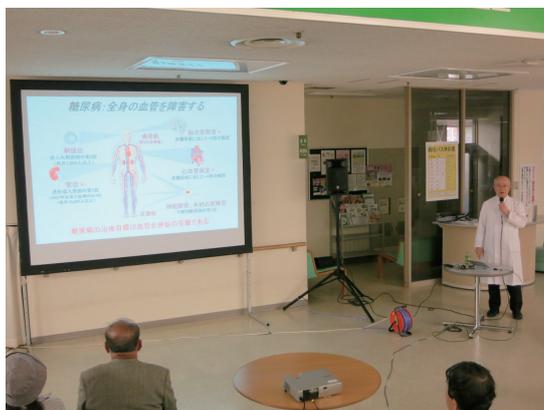
第 1 回

『食後高血糖が血管を傷つける』 ～血糖が上がりにくい食べ方～

院長 佐藤 譲

糖尿病内科担当医の院長先生より、血糖が上がりにくい食べ物、食べる順番などなど…わかりやすくお話ししました。

(平成 28 年 6 月 1 日 (水) 開催)



地域医療連携室からのお知らせ

日頃より当院の病診連携へご協力をいただき、誠にありがとうございます。
病院名の変更後も地域医療連携室を通しての予約方法に変更はございません。

◇予約方法

- ①当院所定の「紹介票」へ患者様氏名、生年月日、受診希望科、病状等の必要事項をご記入下さい。
※「紹介票」はホームページよりダウンロードが可能です。
- ②「紹介票」を地域医療連携室へ FAX して下さい。
- ③ 10 ～ 15 分ほどお待ち下さい。当院より「予約票」を折り返し FAX 致します。

※患者様が東北医科薬科大学病院（宮城野区福室）と場所をお間違えになるケースが発生しております。
大変恐縮でございますが、患者様がお間違いなく御来院くださいますようお願いを申し上げます。



地域医療連携室

TEL:022-236-5899

FAX:022-236-5920

今後も迅速かつ丁寧な地域連携に努めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

楽楽(らくらく)ウォーキング!!

東北医科薬科大学若林病院 糖尿病チーム



5月13日(金)、東北医科薬科大学若林病院になってから1回目(NTT 東日本東北病院から数えて3回目)となるウォーキングイベントを糖尿病チームが主催し開催いたしました。

参加者は、糖尿病または糖尿病予備軍の方を対象に、定員20名で募集させて頂きました。当日は、参加者も定員に達し、天気にも恵まれ絶好のウォーキング日和となりました。ウォーキング前は、血糖値・血圧・体重を測定し、医師の診察を受け15分程度で運動時の注意点の講演も行いました。その後、実際に万歩計をつけて陸奥国分寺薬師堂まで往復1時間程度でウォーキングし、参拝もしてきました。戻ってきたあとは、血糖値・血圧・体重を再度測定をして、血糖値の変化や消費カロリーを参加者の方たちに知ってもらう機会としました。

(理学療法士 菅原 明廣)



開院式 (H28.4.1)

東北医科薬科大学 高柳理事長、若林病院 佐藤院長、寺澤副院長、高橋副院長、若林病院 健診センター 関口所長、鈴木看護部長、石澤薬剤科部長によって今後の若林病院の発展を祈念し、テープカットが行われました。今後も「人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かく良質な医療の提供」をしてまいりますので、何卒宜しくお願い致します。

Topics



ロビーコンサート (H28.5.17)

♪クラシックギターの音色に酔いしれました♪



桜の木植樹 (H28.5.31)

患者様より桜の木を寄付していただき、病院の敷地内に植樹しました。桜の花を見るのが楽しみです。

東北医科薬科大学 若林病院
地域医療連携室

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
TEL022-236-5899 FAX 022-236-5920